

登録コード	TSC03600	開講年度	2026					
授業科目	有機合成化学演習					担当教員	戸田 泰徳	
英文授業名	Seminar in Synthetic Organic Chemistry					副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	物質化学分野1～2年生	
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】	
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ							
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	有機合成化学の知識に基づいて、論文の主旨を理解し、実験結果を論理的に説明できるようになる。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ							
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	有機合成化学の知識に基づいて、論文の主旨を理解し、実験結果を論理的に説明できるようになる。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	有機合成化学の知識に基づいて、論文の主旨を理解し、実験結果を論理的に説明できるようになる。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ							
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	有機合成化学の知識に基づいて、論文の主旨を理解し、実験結果を論理的に説明できるようになる。	
(2)授業の概要	自分の研究テーマに近い有機合成に関する英語の論文を読み、内容を正しく把握して参加者全員に分かるように説明し、質疑応答する。また、それらの研究内容や研究の進め方を学び、自分の研究に反映させるように指導する。							
(3)授業計画	発表担当者は、選んだ論文および必要な引用文献あるいは専門書を読み、説明のためのレジュメあるいはパワーポイント等を用意する。 第1回：（前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：ガイダンス、基礎演習および解説 第2回：（前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：有機合成に関する文献調査演習 第3回：（前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：有機反応および機構に関する文献調査演習 第4回：（前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：グループ討論 第5回：（後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：有機合成に関するプレゼンテーション演習 第6回：（後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：有機反応および機構に関するプレゼンテーション演習 第7回：（後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：有機合成に関する英語専門書輪講および解説 第8回：（後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ）：有機反応および機構に関する英語専門書輪講および解説 最終プレゼンテーション・討論（質疑応答）							
(4)成績評価の方法	就職活動あるいは病気などのやむを得ない場合を除き、全てに参加し、内容を良く理解し質問等にも十分回答できたものには秀、全てに参加し、内容は良く理解しているが質問等への対応が普通の場合に優、全てに参加し、内容の理解と質問等への対応が普通の場合に良、若干の欠席があり、内容の理解と質問等への対応が普通の場合に可、無断欠席があり、内容の理解と質問等への対応が不十分な場合に不可、の評価を行う。							
(5)成績評価の基準	発表資料の内容と論文の理解度を確認する質疑への応答が授業の到達目標の60-69%であれば「水準にある」、70-79%であれば「やや上にある」、80-89%であれば「かなり上にある」、90-100%であれば「卓越している」。							
(6)事前事後学習の内容	選んだ論文とサポーティングインフォメーション、引用文献をよく読み予習しておくこと。また、質疑応答で回答できなかった内容については復習をすること。							
(7)履修上の注意	自分の発表する論文は本文の内容だけでなく、研究背景や関連文献についても質問されるので、その全てに関して答えられるよう十分な事前調査をしておくことが不可避である。また、参加者も予習した内容をもとに積極的に議論を行い、理解を深める場とする必要がある。							
(8)質問,相談への対応	随時対応する。							
(9)その他								
【教科書】	指定しない。							
【参考書】	指定しない。							